

## ヴァイオリンを通してふるさとに恩返しを…

ヴァイオリニスト

わたなべともこ  
**渡辺 朋子**さん(今市出身)

人と人をつなげてくれるところ。ヴァイオリンのおかげで多くの人に会い、喜び

**ヴァイオリンの魅力は何ですか？**

東京を中心にソロコンサート、室内楽、オーケストラへの参加などフリーのヴァイオリニストとして活動しています。また、市内で子ども対象のヴァイオリン教室を行っています。

**どのような活動をしていますか？**

幼少期にヴァイオリンを習っていた母の勧めで、3歳からレッスンに通い始めました。小学4年生の時にプロになりたいと決意し、音楽高校、音楽大学と進み、イギリスへ留学しました。

**ヴァイオリンを始めたきっかけは？**

日光のPRやイメージアップに貢献している多分野の方を、市は日光観光大使に任命しています。今回は10月4日に日光観光大使に就任した市出身のヴァイオリニスト渡辺朋子さんに話を伺いました。

**演奏を続ける上で苦しかったことはありますか？**

大人になってから、楽器が思うように弾けなくなった時期がありました。今まで自然にできていた事が、年齢を重ね、体の変化などから上手く弾けなくなりました。その時は、体作りや指の使い方など、基本からやり直すことで自分に合った演奏法を見つけることができました。この経験から、自分に向き合い、自分を労り、育てることの大切さを知りました。

**演奏で大切なことは？**

ヴァイオリンは「心の鏡」だと思います。そのときの精神状態が音色に出ています。そのため常に自分に正直であることを心掛けています。

**今後の抱負は？**

「ふるさとに恩返しをしたい」

**♡インタビューを終えて**

という気持ちと「子どもたちに音楽(ヴァイオリン)の楽しさを知ってもらいたい」という気持ちがあるので、市内の小中学校などでスクールコンサートをしたいと思っています。体育館などの大きな空間ではなく、例えば音楽室のような空間で生徒一人一人と対話ができるように行えたら幸せです。

現在使っているヴァイオリンに「一目惚れ」したという渡辺さん。「心の鏡」、「パートナー」、「分身」：渡辺さんのヴァイオリンを表現する言葉が印象的でした。ヴァイオリンを大切にし、心を込めて向き合う姿がとても素敵で輝いて見えました。  
 ※演奏の依頼はオフィスアイスマイル(☎03(6906)8011)まで



10月に市内で行ったコンサートの様子

※今回の「輝き人」は、日光市役所でマイチャレンジ(職業体験)をした大沢中学校2年生の出島祐莉さんがインタビューを行いました